

資料 2

令和 5 年 度

# 歳入歳出決算補充説明

令和 6 年 1 1 月

子 ども ・ 福 祉 部

## 令和5年度歳入歳出決算補充説明

	頁 数
1 一般会計	
(1) 歳入	1
(2) 歳出	7
2 三重県母子及び父子並びに寡婦福祉資金貸付事業特別会計	15
3 三重県立子ども心身発達医療センター事業特別会計	16

## 令和5年度歳入歳出決算補充説明

子ども・福祉部の所管する令和5年度歳入歳出決算につきまして、お手元に配付いたしました「令和5年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」により、ご説明申し上げます。

### 1 一般会計

#### (1) 歳入

まず、一般会計の歳入についてご説明申し上げます。

子ども・福祉部の歳入合計は、

予 算 現 額	119 億 1,047 万 3,964 円
調 定 額	113 億 3,141 万 4,457 円
収 入 済 額	110 億 7,016 万 6,284 円
収入未済額	2 億 4,396 万 9,546 円
不納欠損額	1,727 万 8,627 円となっています。

以下、順次各項目についてご説明申し上げます。

### 第7款 分担金及び負担金

#### 第2項 負担金

第3目 民生費負担金（40頁）のうち当部関係分は、

予 算 現 額	5,501 万 4,000 円
調 定 額	7,526 万 7,160 円
収 入 済 額	5,326 万 8,020 円
収入未済額	2,199 万 9,140 円で、

収入済額の主な内訳は、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
心身障がい者扶養共済事業負担金	2,980万4,030円
児童措置費負担金	1,655万5,440円
障がい児入所施設措置費保護者等負担金	536万8,250円

収入未済額の主なものは、児童措置費負担金 1,843 万 3,260 円などです。

## 第8款 使用料及び手数料

### 第2項 手数料

第2目 民生手数料（52頁）のうち当部関係分は、

予 算 現 額 347万 8,000円

調 定 額 343万 4,500円

収 入 済 額 343万 4,500円で、

これは、保育士資格登録手数料を収入したものです。

第3目 衛生手数料のうち当部関係分は、

予 算 現 額 3万 2,000円

調 定 額 1万 9,100円

収 入 済 額 1万 9,100円で、

これは、受胎調節実地指導員指定証交付手数料を収入したものです。

## 第9款 国庫支出金

### 第1項 国庫負担金

第3目 民生費負担金（70頁）のうち当部関係分は、

予 算 現 額 46億 6,081万 2,000円

調 定 額 45億 4,844万 6,140円

収 入 済 額 45億 4,844万 6,140円で、

収入済額の主な内訳は、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
児童保護費負担金	20億4,233万2,831円
生活保護費負担金	17億1,291万3,649円
障がい児施設措置費負担金	4億3,481万2,621円

### 第2項 国庫補助金

第2目 民生費補助金（80頁）のうち当部関係分は、

予 算 現 額 34億 1,520万 6,260円

調 定 額 30億 3,907万 1,859円

収 入 済 額 30億 3,907万 1,859円で、

収入済額の主な内訳は、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	14億7,427万1,542円
障害者総合支援事業費補助金	3億 856万2,673円
保育対策総合支援事業費補助金	2億 91万1,060円

第3目 衛生費補助金（84頁）のうち当部関係分は、

予 算 現 額            5,617万 8,000円  
 調 定 額                4,829万 4,100円  
 収 入 済 額            4,829万 4,100円で、

収入済額の内訳は、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
母子保健衛生費補助金	2,239万5,000円
出産・子育て応援交付金	1,000万円
児童虐待防止対策等総合支援事業費補助金	831万9,000円

第10目 教育費補助金（104頁）のうち当部関係分は、

予 算 現 額    4億 876万 2,704円  
 調 定 額        3億 3,546万 7,736円  
 収 入 済 額    3億 3,546万 7,736円で、

収入済額の内訳は、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
私立高等学校等経常費助成費補助金	2億4,728万3,000円
教育支援体制整備事業費交付金	2,876万2,886円
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	2,354万9,537円

### 第3項 委託金

第2目 民生費委託金（112頁）のうち当部関係分は、

予 算 現 額            5,094万 1,000円  
 調 定 額                4,902万 165円  
 収 入 済 額            4,902万 165円で、

収入済額の内訳は、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
指導監査委託金	2,180万1,000円
遺族及び留守家族等援護事務委託金	1,519万6,347円
特別児童扶養手当法施行事務委託金	1,064万7,936円

第3目 衛生費委託金のうち当部関係分は、

予 算 現 額            77万 8,000円  
 調 定 額                38万 6,450円  
 収 入 済 額            38万 6,450円で、

収入済額の内訳は、次のとおりです。

これは、こども政策推進事業委託費を収入したものです。



## 第10款 財産収入

### 第1項 財産運用収入

第1目 財産貸付収入（120頁）のうち当部関係分は、

予 算 現 額	263 万円
調 定 額	266 万 2,640 円
収 入 済 額	266 万 2,640 円で、

これは、三重県社会福祉会館の施設使用料を収入したものです。

第2目 利子及び配当金のうち当部関係分は、

予 算 現 額	16 万 5,000 円
調 定 額	16 万 5,468 円
収 入 済 額	16 万 5,468 円で、

これは、三重県安心こども基金及び三重県子ども基金の運用に伴う利子を収入したものです。

### 第2項 財産売払収入

第2目 物品売払収入のうち当部関係分は、

予 算 現 額	0 円
調 定 額	5 万 6,650 円
収 入 済 額	5 万 6,650 円で、

これは、公用車の売却代金を収入したものです。

## 第11款 寄附金

### 第1項 寄附金

第3目 民生費寄附金（124頁）のうち当部関係分は、

予 算 現 額	1,331 万 4,000 円
調 定 額	853 万 4,727 円
収 入 済 額	853 万 4,727 円で、

これは、三重県子ども基金寄附金及び三重県福祉基金寄附金を収入したものです。

## 第12款 繰入金

### 第1項 特別会計繰入金

第1目 他会計繰入金（128頁）のうち当部関係分は、

予 算 現 額	1 億 2,863 万 8,000 円
調 定 額	1 億 2,863 万 7,268 円
収 入 済 額	1 億 2,863 万 7,268 円で、

これは、母子及び父子並びに寡婦福祉資金貸付事業特別会計からの繰入金  
を収入したものです。

## 第2項 基金繰入金

第1目 基金繰入金のうち当部関係分は、

予 算 現 額 7億 2,143万 4,000円  
調 定 額 5億 2,078万 7,046円  
収 入 済 額 5億 2,078万 7,046円で、

収入済額の主な内訳は、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
三重県福祉基金繰入金	1億9,426万8,814円
三重県子ども基金繰入金	1億7,416万1,558円
三重県財政調整基金繰入金	8,320万1,894円

## 第13款 繰越金

### 第1項 繰越金

第1目 繰越金（130頁）のうち当部関係分は、

予 算 現 額 1億 406万 6,000円  
調 定 額 1億 406万 6,000円  
収 入 済 額 1億 406万 6,000円で、

これは、前年度からの繰越事業に充当するため、繰り越したものです。

## 第14款 諸収入

### 第1項 延滞金、加算金及び過料等

第1目 延滞金（132頁）のうち当部関係分は、

予 算 現 額 0円  
調 定 額 1万 2,300円  
収 入 済 額 1万 2,300円で、

これは、生活保護費の返還に係る延滞金です。

### 第6項 収益事業収入

第1目 宝くじ収入（142頁）のうち当部関係分は、

予 算 現 額 2億 5,261万 2,000円  
調 定 額 2億 5,261万 2,000円  
収 入 済 額 2億 5,261万 2,000円で、

これは、私立幼稚園等振興補助金に充当した宝くじ収入です。

## 第8項 雑入

第2目 雑入のうち当部関係分は、

予 算 現 額 15億 2,017万 4,000円  
調 定 額 15億 6,914万 4,479円  
収 入 済 額 15億 4,601万 744円  
収 入 未 済 額 2,313万 3,735円で、

収入済額の主な内訳は、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
雑入	13億4,260万8,244円
心身障がい者扶養共済事業年金収入	1億9,220万円
人材育成支援事業研修受講料	950万2,500円

収入未済額の主なものは、雑入の生活保護費返還金 1,432万 693円などです。

第3目 過年度収入（146頁）のうち当部関係分は、

予 算 現 額 0円  
調 定 額 2億 2,807万 2,677円  
収 入 済 額 1,195万 7,379円  
収 入 未 済 額 1億 9,883万 6,671円  
不 納 欠 損 額 1,727万 8,627円で、

収入未済額の主なものは、生活保護費返還金 1億 656万 5,408円などで、それぞれ過年度に係るものです。

また、不納欠損額は、児童措置費負担金 880万 1,016円などで、地方自治法における債権消滅時効の規定などに基づき処理したものです。

第5目 弁償金のうち当部関係分は、

予 算 現 額 0円  
調 定 額 9万 1,498円  
収 入 済 額 9万 1,498円で、

これは、交通事故による公用車修理に係る弁償金を収入したものです。

第6目 違約金及び延納利息のうち当部関係分は、

予 算 現 額 0円  
調 定 額 16万 4,494円  
収 入 済 額 16万 4,494円で、

これは、委託契約の契約解除に伴う違約金を収入したものです。



## 第15款 県債

### 第1項 県債

第2目 民生債（150頁）のうち当部関係分は、

予 算 現 額 5億 1,400万円  
調 定 額 4億 1,700万円  
収 入 済 額 4億 1,700万円で、

収入済額の主な内訳は、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
身体障害者総合福祉センター運営費充当	2億3,800万円
みえこどもの城運営事業費充当	4,700万円
地域交通バリア解消促進事業費充当	3,700万円

以上が、一般会計の歳入決算の概要です。

## (2) 歳出

引き続き、一般会計の歳出決算についてご説明申し上げます。

子ども・福祉部の歳出合計は、

予 算 現 額 494億 280万 4,964円  
支 出 済 額 473億 5,957万 5,653円  
翌年度繰越額 2億 7,429万 1,000円  
不 用 額 17億 6,893万 8,311円となっています。

以下、順次各項目についてご説明申し上げます。

## 第3款 民生費（248頁）のうち当部関係分は、

予 算 現 額 459億 1,467万 8,260円  
支 出 済 額 443億 2,846万 9,133円  
翌年度繰越額 2億 3,175万 3,000円  
不 用 額 13億 5,445万 6,127円となっています。

### 第1項 社会福祉費

第1目 社会福祉総務費のうち当部関係分は、

予 算 現 額 51億 3,479万円  
支 出 済 額 50億 418万 9,225円  
不 用 額 1億 3,060万 775円で、

支出済額の主な内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
給与費	28億 559万1,032円	子ども・福祉部職員の給与等
低所得者等援護対策費	8億2,795万6,804円	生活福祉資金貸付事業や矯正施設を退所した高齢者や障がい者の支援などに要した経費
少子化対策推進事業費	3億2,330万7,906円	市町が地域の実情や社会資源に応じて、子ども・子育て家庭を支援する取組に対して補助を行う、みえ子ども・子育て応援総合補助金などに要した経費

不用額の主なものは、少子化対策推進事業費の実績減5,564万5,094円、給与費の実績減2,151万4,968円などです。

第2目 障がい者福祉費（250頁）のうち当部関係分は、

予 算 現 額 128 億 777 万 9,000 円

支 出 済 額 122 億 4,274 万 6,981 円

翌年度繰越額 1 億 9,573 万 4,000 円

不 用 額 3 億 6,929 万 8,019 円で、

支出済額の主な内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
障害者介護給付事業費	110億3,559万6,862円	障害者総合支援法に基づく各種障害福祉サービスの提供などに要した経費
障がい者地域生活支援事業費	4億6,502万6,019円	障害者手帳の交付、相談支援体制の充実、障害福祉サービスに従事する人材の育成などに要した経費
障がい者所得保障事業費	4億3,842万 460円	特別障害者手当及び心身障害者扶養共済年金等の支給に要した経費

翌年度繰越額は、地域生活移行推進事業費及び障害者介護給付事業費の国の令和5年度補正予算（第2号）に対応した事業で、年度内では事業執行に必要な期間を確保できなかったことから、やむを得ず繰り越したものです。また、地域生活移行推進事業費の補助事業（グループホーム鈴鹿けやき苑の工事）で、資材の調達に期間を要し、年度内に完成することができなくなったため、やむを得ず繰り越したものです。

不用額の主なものは、障害者介護給付費負担金の実績減3億4,702万8,138円などです。

第4目 遺族等援護費（254頁）は、

予 算 現 額            2,445 万 7,000 円  
 支 出 済 額            2,052 万 3,579 円  
 不 用 額                393 万 3,421 円で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事 業 名	支 出 済 額	説 明
戦傷病者・戦没者遺族 援護事業費	2,052万3,579円	戦没者追悼式の举行、戦没者 遺族等に対する援護事業など に要した経費

不用額は、戦傷病者・戦没者遺族援護事業費の実績減 393 万 3,421 円で  
 す。

第5目 社会福祉施設費は、

予 算 現 額        6 億 7,608 万 8,000 円  
 支 出 済 額        6 億    76 万 8,851 円  
 不 用 額            7,531 万 9,149 円で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事 業 名	支 出 済 額	説 明
県立障がい児（者）福 祉施設等事業費	4億6,221万9,667円	障害者相談支援センター及び 身体障害者総合福祉センター の管理運営に要した経費
女性相談所費	1億 764万 187円	女性相談所の管理運営及び一 時保護に要した経費
配偶者暴力相談支援セ ンター事業費	3,090万8,997円	市町や民間団体と連携した被 害者相談・保護・自立支援等 や、相談員や関係者の資質向 上のための研修会、DV防止 の啓発に要した経費

不用額の主なものは、県立障がい児（者）福祉施設等事業費の実績減  
 7,120 万 5,333 円などです。

第7目 子ども対策費（258頁）は、

予 算 現 額            2,998 万円  
 支 出 済 額            2,236 万 5,334 円  
 不 用 額                761 万 4,666 円で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事 業 名	支 出 済 額	説 明
子ども・若者対策事業 費	2,236万5,334円	青少年総合支援専門員の配置 などに要した経費

不用額は、子ども・若者対策事業費の実績減 761 万 4,666 円です。



## 第2項 児童福祉費

第1目 児童福祉総務費（260頁）のうち当部関係分は、

予 算 現 額 153 億 1,496 万 3,000 円

支 出 済 額 148 億 9,675 万 9,882 円

翌年度繰越額 660 万円

不 用 額 4 億 1,160 万 3,118 円で、

支出済額の主な内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
保育所事業費	73億8,509万5,515円	保育所や認定こども園等の運営助成などに要した経費
児童手当事業費	36億7,304万5,042円	児童手当の支給に要した経費
特別保育事業費	21億3,210万1,040円	低年齢児保育等を実施する保育所、地域子育て支援拠点、病児保育施設及び放課後児童クラブの運営などの助成に要した経費

翌年度繰越額は、保育所事業費で、国の令和5年度補正予算（第2号）に対応した事業であり、年度内では事業執行に必要な期間を確保できなかったことから、やむを得ず繰り越したものです。

不用額の主なものは、保育所事業費の実績減2億7,637万9,485円、児童扶養手当事業費の実績減1億2,950万943円などです。

第2目 児童措置費（262頁）は、

予 算 現 額 75 億 5,748 万 6,260 円

支 出 済 額 74 億 9,921 万 8,800 円

翌年度繰越額 1,733 万 2,000 円

不 用 額 4,093 万 5,460 円で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
児童措置費	39億5,045万2,671円	要保護児童の児童福祉施設への入所措置等に要した経費
障がい児福祉費	35億4,876万6,129円	障がい児の児童福祉施設への通所給付などに要した経費

翌年度繰越額は、障がい児福祉費で、国の令和5年度補正予算（第2号）に対応した事業であり、年度内では事業執行に必要な期間を確保できなかったことから、やむを得ず繰り越したものです。

不用額の主なものは、児童措置費の実績減3,185万4,329円などです。



第3目 母子福祉費のうち当部関係分は、

予 算 現 額 1億 9,826万 2,000円

支 出 済 額 1億 5,366万 6,044円

不 用 額 3,370万 8,956円で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事 業 名	支 出 済 額	説 明
ひとり親家庭等対策費	1億 3,911万9,270円	母子・父子家庭の福祉を増進するため、母子・父子福祉センターの設置、各種相談事業や就業支援事業などを行うために要した経費
母子・父子自立支援員 設置事業費	1,454万6,774円	母子・父子自立支援員の配置に要した経費

不用額の主なものは、ひとり親家庭等対策費の実績減3,245万3,730円などです。

第4目 児童福祉施設費（264頁）は、

予 算 現 額 10億 3,710万 8,000円

支 出 済 額 9億 3,397万 1,528円

翌年度繰越額 120万円

不 用 額 1億 193万 6,472円で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事 業 名	支 出 済 額	説 明
児童虐待防止総合対策 事業費	4億 9,284万9,968円	相談体制の充実や関係機関との連携強化、要保護児童の家族再生支援の強化など総合的な児童虐待防止対策事業に要した経費
児童相談センター費	3億 8,686万3,086円	児童相談所及び一時保護所の管理運営に要した経費
国児学園費	5,425万8,474円	国児学園の管理運営に要した経費

翌年度繰越額は、児童虐待防止総合対策事業費で、国の令和5年度補正予算（第2号）に対応した事業であり、年度内では事業執行に必要な期間を確保できなかったことから、やむを得ず繰り越したものです。

不用額の主なものは、児童虐待防止総合対策事業費の実績減8,075万1,032円などです。

### 第3項 生活保護費

第1目 生活保護総務費（266頁）は、

予 算 現 額 7,401万 2,000円  
支 出 済 額 6,560万 9,751円  
不 用 額 840万 2,249円で、

支出済額の主な内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
生活保護適正化推進事業費	5,849万1,574円	生活保護法の適正実施のために必要な各種調査、就労支援などに要した経費
監査指導費	578万9,641円	社会福祉法人等に対する指導・監査等に要した経費
指導調査研修費	115万8,258円	生活保護法の適正実施のための法律・制度の説明会などに要した経費

不用額の主なものは、生活保護適正化推進事業費の実績減 502万 2,426円などです。

第2目 扶助費（268頁）は、

予 算 現 額 30億 2,706万 5,000円  
支 出 済 額 28億 7,777万 529円  
不 用 額 1億 4,929万 4,471円で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
保護費	28億7,777万 529円	生活保護法に基づいて生活扶助、住宅扶助、教育扶助、医療扶助、介護扶助等の保護の実施に要した経費

不用額は、保護費 1億 4,929万 4,471円の実績減です。

### 第4項 災害救助費

第1目 救助費（270頁）のうち当部関係分は、

予 算 現 額 3,268万 8,000円  
支 出 済 額 1,087万 8,629円  
不 用 額 2,180万 9,371円で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
災害援護対策費	1,087万8,629円	災害時における福祉支援ネットワーク事業などに要した経費

不用額は、災害援護対策費の実績減2,180万9,371円です。

#### 第4款 衛生費（272頁）のうち、当部関係分は、

予算現額	20億7,702万1,000円
支出済額	17億2,183万2,866円
翌年度繰越額	550万円
不用額	3億4,968万8,134円となっています。

#### 第1項 公衆衛生費

##### 第1目 公衆衛生総務費のうち当部関係分は、

予算現額	20億5,928万1,000円
支出済額	17億456万1,337円
翌年度繰越額	550万円
不用額	3億4,921万9,663円で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
子ども心身発達医療センター諸費	12億6,400万円	子ども心身発達医療センターへの繰出しに要した経費
母子保健対策費	4億310万6,908円	特定不妊治療に係る費用の助成、先天性代謝異常等の検査などに要した経費
未熟児等援護費	2,465万4,379円	未熟児に対する医療の給付に要した経費

翌年度繰越額は、母子保健対策費の補助事業（亀山市総合保健センターの工事）において、資材の製作に期間を要し、年度内に完成することができなくなったため、やむを得ず繰り越したものです。

不用額の主なものは、母子保健対策費の実績減2億4,737万6,092円などです。

#### 第3項 保健所費

##### 第1目 保健所費（284頁）のうち当部関係分は、

予算現額	1,774万円
支出済額	1,727万1,529円
不用額	46万8,471円で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。



事業名	支出済額	説明
保健所関係母子対策費	1,727万1,529円	「健やか親子いきいきプランみえ（第2次）」に基づく、妊娠期からの切れ目のない母子保健対策に要した経費

不用額は、保健所関係母子対策費の実績減46万8,471円です。

## 第10款 教育費

### 第9項 私立幼稚園費

第1目 私立幼稚園費（472頁）は、

予算現額 14億1,110万5,704円

支出済額 13億927万3,654円

翌年度繰越額 3,703万8,000円

不用額 6,479万4,050円で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
私立幼稚園振興費	13億927万3,654円	私立幼稚園等振興補助金、私立幼稚園等心身障がい児助成事業補助金及び認定こども園施設整備交付金等に要した経費

翌年度繰越額は、私立幼稚園振興費で、国の令和5年度補正予算（第2号）に対応した事業であり、年度内では事業執行に必要な期間を確保できなかったことから、やむを得ず繰り越したものです。

不用額は、私立幼稚園振興費の実績減6,479万4,050円です。

以上で、一般会計の歳入歳出決算の概要について説明を終わります。

引き続き、特別会計についてご説明申し上げます。



## 2 三重県母子及び父子並びに寡婦福祉資金貸付事業特別会計

525 頁の三重県母子及び父子並びに寡婦福祉資金貸付事業特別会計は、母子及び父子並びに寡婦福祉法に基づき、県内の母子家庭及び父子家庭並びに寡婦の自立促進を図るため、修学資金、生活資金などの各種資金について貸付を行うものです。

### (1) 歳入

まず、歳入についてご説明申し上げます。

歳入合計は、

予 算 現 額	11 億	6 万 7,000 円
調 定 額	12 億 3,415 万	6,955 円
収 入 済 額	9 億 6,655 万	8,388 円
収 入 未 済 額	2 億 6,536 万	9,450 円
不 納 欠 損 額		222 万 9,117 円となっています。

歳入のうち、第2款 諸収入(526 頁)は、

予 算 現 額	4 億 3,625 万円
調 定 額	5 億 7,610 万 9,260 円
収 入 済 額	3 億 851 万 693 円
収 入 未 済 額	2 億 6,536 万 9,450 円で、

これは、貸付金元利償還金などを収入したものです。

また、収入未済額は、貸付金元利償還金に係るものです。

第5款 繰入金は、

予 算 現 額	2,112 万 7,000 円
調 定 額	1,535 万 6,847 円
収 入 済 額	1,535 万 6,847 円で

これは、一般会計からの繰入金を収入したものです。

第7款 繰越金(528 頁)は、

予 算 現 額	6 億 4,269 万円
調 定 額	6 億 4,269 万 848 円
収 入 済 額	6 億 4,269 万 848 円で、

これは、前年度の実質収支額を繰り越したものです。

## (2) 歳出

次に、歳出（530 頁）についてご説明申し上げます。

歳出合計は、

予 算 現 額 11 億 6 万 7,000 円  
支 出 済 額 5 億 4,360 万 9,862 円  
不 用 額 5 億 5,645 万 7,138 円で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
母子福祉資金貸付金	1億2,306万6,054円	母子、父子家庭や寡婦の経済的自立を図るため、児童の修学などの資金を無利子または低利で貸し付けるために要した経費
父子福祉資金貸付金	1,300万1,000円	
寡婦福祉資金貸付金	683万1,804円	
事務費	1,620万2,695円	
償還金	2億5,587万1,041円	
繰出金	1億2,863万7,268円	

不用額の主なものは、貸付金の実績減 5 億 5,087 万 5,142 円などです。

これにより、実質収支額（532 頁）は、歳入合計の収入済額 9 億 6,655 万 8,388 円から歳出合計の支出済額 5 億 4,360 万 9,862 円を差し引いた 4 億 2,294 万 8,526 円となり、この額を令和 6 年度へ繰り越しています。

## 3 三重県立子ども心身発達医療センター事業特別会計

最後に、533 頁の三重県立子ども心身発達医療センター事業特別会計は、児童精神科・小児整形外科医療施設及び医療型障害児入所施設である県立子ども心身発達医療センターの運営を行うものです。

### (1) 歳入

まず、歳入についてご説明申し上げます。

歳入合計は、

予 算 現 額 26 億 298 万 2,000 円  
調 定 額 25 億 457 万 2,726 円  
収 入 済 額 25 億 325 万 1,822 円  
収 入 未 済 額 132 万 904 円となっています。

歳入のうち、第 1 款 分担金及び負担金(534 頁)は、

予 算 現 額 1 億 216 万 9,000 円  
調 定 額 1 億 693 万 5,042 円  
収 入 済 額 1 億 693 万 5,042 円で、

これは、子ども心身発達医療センター事業負担金を収入したものです。

第2款 使用料及び手数料は、

予 算 現 額	8 億 2,475 万円
調 定 額	8 億 3,087 万 4,369 円
収 入 済 額	8 億 3,030 万 6,986 円
収 入 未 済 額	56 万 7,383 円で、

これは、入院料などを収入したものです。

また、収入未済額の主なものは、入院料 53 万 2,458 円などです。

第3款 繰入金は、

予 算 現 額	13 億 6,446 万円
調 定 額	12 億 6,400 万円
収 入 済 額	12 億 6,400 万円で、

これは、一般会計からの繰入金を収入したものです。

第4款 諸収入（536 頁）は、

予 算 現 額	1,493 万 7,000 円
調 定 額	1,753 万 1,685 円
収 入 済 額	1,677 万 8,164 円
収 入 未 済 額	75 万 3,521 円で、

これは、入院料で生じた使用料及び手数料の過年度分などを収入したものです。

また、収入未済額の主なものは、入院料の過年度分 74 万 8,428 円などです。

第5款 繰越金は、

予 算 現 額	112 万 7,000 円
調 定 額	112 万 7,150 円
収 入 済 額	112 万 7,150 円で、

これは、前年度の実質収支額を繰り越したものです。

第6款 国庫支出金は、

予 算 現 額	2,393 万 7,000 円
調 定 額	2,210 万 1,000 円
収 入 済 額	2,210 万 1,000 円で、

これは、地域生活支援事業費補助金などを収入したものです。



第7款 財産収入は、

予 算 現 額 60 万 2,000 円  
調 定 額 60 万 3,480 円  
収 入 済 額 60 万 3,480 円で、

これは、職員公舎貸付料 39 万 5,580 円などを収入したものです。

第8款 県債（538 頁）は、

予 算 現 額 2 億 7,100 万円  
調 定 額 2 億 6,140 万円  
収 入 済 額 2 億 6,140 万円で、

これは、運営事業費に充当するために収入したものです。

## （2）歳出

次に、歳出（540 頁）についてご説明申し上げます。

歳出合計は、

予 算 現 額 26 億 298 万 2,000 円  
支 出 済 額 24 億 9,635 万 5,880 円  
不 用 額 1 億 662 万 6,120 円で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事 業 名	支 出 済 額	説 明
人件費	14億 1,072万1,724円	職員給与費等
運営事業費	10億 5,519万7,339円	管理運営費
医療支援事業費	3,043万6,817円	支援員人件費、CLM委託料等

不用額の主なものは、運営事業費の実績減 6,865 万 2,661 円などです。

これにより、実質収支額（544 頁）は、歳入合計の収入済額 25 億 325 万 1,822 円から歳出合計の支出済額 24 億 9,635 万 5,880 円を差し引いた 689 万 5,942 円となり、この額を令和 6 年度へ繰り越しています。

以上をもちまして、令和 5 年度子ども・福祉部関係の歳入歳出決算の概要について説明を終わります。

何とぞよろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。